



# 羅臼町災害時備蓄計画

羅臼町

# 羅臼町災害時備蓄計画

## 目次

I. 総則	1
1. 本計画の位置づけ	1
2. 備蓄の基本的な考え方	2
3. 備蓄対象人数	3
II. 備蓄品目	4
III. 備蓄目標	5
1. 食糧	5
2. 生活必需品	7
3. 避難収容施設資機材等	9
IV. 備蓄計画	10
V. 各地区の備蓄拠点への分散備蓄	10
1. 備蓄拠点の機能・役割	10
2. 備蓄拠点について	10
VI. 年次備蓄配備計画	11
VII. 地区ごとの整備数量	13
VIII. 現有防災備蓄品	13
IX. 協定事業所一覧	14

# I. 総則

## 1. 本計画の位置づけ

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分に三陸沖で発生した東日本大震災は地震の規模がマグニチュード 9.0、最大震度 7 で、日本周辺における観測史上最大の地震であり、10m以上の津波が複数観測され、最大遡上高についても 40.1mにのぼり、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

本町においても、平成 6 年 10 月 4 日の北海道東方沖地震では震度 5 を観測し、その後度重なる余震により岬町モセカルベツ覆道の上部の巨大岩体に亀裂が入り、釧路土木現業所（現釧路建設管理部）による爆破処理が行われました。この件で、岬町地区が一時孤立した状況となり、移動手段等の確保のため、観光船の運航を実施しました。

また、平成 28 年 8 月 15 日からの断続的に降り続けた大雨により、海岸町旧南へき地保健福祉館地区で大規模な土砂崩れが発生。土砂は道道 87 号知床公園羅臼線を跨ぎ海岸まで到達し、陸上の交通手段は遮断され、土砂崩れ現場以北は数日間、孤立状態となりました。電線及び光ケーブルの断線による停電が発生し、携帯電話、固定電話の通信機能も奪われるなど極限状態となりました。

このような状態の中、町や関係機関、そして地域住民や企業等の連携により、乗り越えることができましたが、この大雨による土砂災害の発生は、国や道、町だけではなく、警察、消防、地域住民や企業等に大きな脅威を与え、避難所等の整備、食糧、資機材の備蓄などを含む各種の防災対策の整備に大きな教訓を与えることとなりました。

今回や過去の災害の教訓を基に、今後の大規模災害に備え、町はここに、町民、事業所などと協力した、羅臼町災害時備蓄計画を策定します。

## 2. 備蓄の基本的な考え方

本町の防災対策は、自助（住民が自らの安全を自らで守ることをいう。）、共助（住民等が地域において互いに助け合うことをいう。）及び公助（町、道及び防災関係機関が実施する対策をいう。）の考え方を基本としています。この考え方から、災害時の備蓄体制においても、①町が行う行政備蓄、②住民による家庭内備蓄、③地域内備蓄、④企業内備蓄、⑤流通在庫備蓄という、住民・企業・行政の一体的な取り組みを基本とします。

しかしながら、震災時には家屋の倒壊や焼失等により、多数の避難者や負傷者の発生が予想されます。このため、住民自らが非常用持出品として食糧等の備蓄をすることを基本としつつ、町も非常用持出品を持ち出せなかった避難者等のための食糧、生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材等を備蓄するものです。なお、本計画は町が行う行政備蓄に関する計画とします。

計画期間は、2017年度からから2021年度までの5年間とします。

備蓄体制	概要
家庭内備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内備蓄とは、住民が自らの家庭内において3日以上以上の食糧や飲料水の備蓄を行うなど、日頃から災害時に必要な物資を備えておくことをいいます。</li> <li>・災害時の食糧や飲料水の備蓄は、自分の命は自分で守る（自助）観点から、家庭内備蓄が基本となります。</li> <li>・家庭内備蓄の充実に向けた町の広報誌や防災訓練、自主防災組織の活動等を通じ、広報や啓発に努め、家庭内の備蓄を推進します。</li> </ul>
地域内備蓄 企業内備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内備蓄とは、地域の町内会や自主防災組織等が平常時の活動において、自主的に地域内の食糧や飲料水等の備蓄品を確保しておくことをいいます。</li> <li>・企業内備蓄とは、災害時における従業員との連絡方法を定め、3日以上以上の備蓄等を推進することをいいます。</li> <li>・両者は、災害が発生した場合には地域住民と協力し、地域における活動を協働で行う必要があります。</li> </ul>
流通在庫備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通在庫備蓄とは、町内外の食料品店、商店、その他事業所等と町が協定等を予め締結し、災害時に必要な物資（食糧や生活必需品等）を調達することをいいます。</li> <li>・流通在庫備蓄を活用することによって、町全体の備蓄体制がより強固になります。</li> <li>・町は、災害時の流通備蓄の円滑な調達が行えるよう、協定の締結を推進する。</li> </ul>
行政備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政備蓄とは、町が平常時から行う食糧等の備蓄をいいます。</li> <li>・大規模な災害時には、家屋の倒壊、焼失等により、多数の避難者、負傷者が発生することが予想されることから、行政備蓄として平常時から食糧、生活必需品及び災害応急対策に必要な防災資機材等の備蓄を行う必要があります。</li> </ul>

### 3. 備蓄対象人数

平成 19 年度に策定した羅臼町耐震改修促進計画では、羅臼町において想定される地震・規模については、「北海道耐震改修促進計画」に基づき、「根室沖・釧路沖の地震」、「標津断層帯」、「全国どこでも起こりうる直下の地震」の 3 つの種類地震と設定され、このうち「標津断層帯地震」が 3 つの種類地震想定の中で、最も高い震度が想定されています。

その後、北海道が平成 24 年度に行った「太平洋沿岸地域（十勝、釧路、根室）に係る地震動による被害想定調査」における想定地震（標津断層帯、十勝平野断層帯主部、石狩低地東縁断層帯主部（北）、根室沖・釧路沖の地震、十勝沖の地震、三陸沖北部の地震）によると、羅臼町に最も大きな被害をもたらす地震は「標津断層帯」による地震であり、この地震で人的被害が最大となる「冬期の早朝」の被害想定結果となっているが、想定される避難者数が 65 人で、近隣の町と比べると少ない想定となっている

このことから、被害想定については参考とし、独自の指標として全町民の人口の 10%を整備目標として、試算をすると約 540 人となり、この人数の発災から 3 日分の備蓄を目標とします。

※参考：標津断層帯の地震（冬季の早朝）

建物損壊数		避難者数	
全壊棟数	4 棟	避難所生活者数	42 人
半壊棟数	20 棟	避難所以外生活者数	23 人
計	24 棟	計	65 人

※出典：道防災会議/地震火山対策部会地震専門委員会/想定地震見直しに係るWGの人的被害（死者、重軽傷者）が最大となる「冬期の早朝」の被害想定結果を用いる。

備蓄体制の構築においては、町は次の目標数を定めるが、不足が生じる事態となった場合を想定し、町内外にある事業者等とあらかじめ応急生活物資の供給に関する協定等の締結を行い、震災時に必要な物資を調達する仕組みの整備を行います。

このことにより、家庭内備蓄、地域内備蓄、企業内備蓄、流通在庫備蓄等による複合的かつ重層的に備蓄体制の整備を目指します。

【備蓄体制に目安とする食料等供給対象人口】

	行政備蓄
目標人数	540 人分

※平成 28 年 11 月末現在の人口より算出

【必要とする数量】

	行政備蓄
食料	540 人×9 食 =4,860 食
飲料水	540 人×9 $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$ =4,860 $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$

※計算方法：食料・飲料水の数量は、1 日 3 食・3  $\frac{\text{リットル}}{\text{人}}$  で計算。

【行政備蓄における年齢区分別の対象人口】

年齢区分	対象人口	構成割合	摘要
対象者数	540 人	100.0 %	飲料水、乾燥スープ
0 歳	3 人	0.5%	哺乳瓶、粉ミルク（アレルギー対応）、紙おむつ
1～2 歳	7 人	1.2%	アルファ米（白がゆ）、紙おむつ
3 歳～69 歳	424 人	78.6%	アルファ米（アレルギー対応：五目ご飯、わかめご飯、ひじきご飯等）
70 歳以上	106	19.7%	白粥（アルファ化米）
女性	111 人	20.5 %	生理用品
要介護認定 3 以上	9 人	1.7 %	紙おむつ（高齢者用）

※各人数は、平成 28 年 12 月 1 日現在の総人口に対する割合を 540 人で割り戻した。  
食料は全てアレルギー対応食とする。

## Ⅱ. 備蓄品目

備蓄品目は、家屋が全壊・半壊して避難した住民にとって、災害発生後、町や事業者からの物資が届くまでの間、緊急かつ必要不可欠な食糧、生活必需品等とします。

種類	品目
ア 食糧・飲料水等	粉ミルク（0 歳：アレルギー対応）、アルファ米（1～2 歳、70 歳以上：アレルギー対応、白飯、赤飯、白がゆ、梅がゆ）、アルファ米（3 歳以上：わかめご飯、田舎ごはん、山菜おこわ、松茸ごはん等）、生命のパン（3 歳以上：オレンジ、プチヴェール、黒豆等）乾燥スープ（即席卵スープ、オニオンスープ、即席みそ）、飲料水（純水：500ml ペットボトル）
イ 生活必需品	毛布、アルミブランケット、対流型ストーブ、非常用糞尿処理セット、トイレトーパー、ポリバケツ、カセットコンロ、カセットボンベ、給水パック、子ども用紙オムツ、介護用紙パンツ、生理用ナプキン、おしりふき、使い捨て哺乳瓶、タオル、マスク、からだ濡れタオル、キッチンハイター、業務用袋、キッチンラップ、使い捨て手袋、食器皿、箸、スプーン
ウ 医薬品	保健師活動用救護セット、避難所用救護セット
エ 資機材等	非常用発電機、LED 投光器、発電機用カセットボンベ、懐中電灯（グローリーラジオ・LED）、乾電池（単二、単三）、純正エンジンオイル（発電機用）、電工ドラム、ポリタンク（灯油用）、ガソリン缶、災害時緊急用段ボールベット、屋内型避難用テント、屋外型避難用テント目隠しシート、段ボール製パーテーション、ブルーシート、折りたたみ式レジャーマット、カラフルコーン、コーンウエイト、コーンバー、誘導棒、炊き出しステーション、衛星携帯電話、ラジオ、マジック、軍手、カッター、ハサミ、布テープ、PP ひも、PP ロープ、靴入れ袋、収納ボックス

### Ⅲ. 備蓄目標（2017年度～2021年度）

#### 1. 食糧

品 目	粉ミルク《対象：0歳》
備蓄計画	<p><b>【備蓄基準】</b> 1回当たり調乳量 200ml（粉換算 26g）、1日5回（粉換算 130g）、3日分（1人当たり 390g）</p> <p><b>【目標数量】</b> 3人×390g=1,170g（2017.12現在 1,218g）</p> <p><b>【整備数量】</b> 明治ミルフィー（アレルギー対応） 14.50g×6本×14箱=1,218g（1箱の目安：14.50g×6本入） 地域の各拠点ごとに1箱ずつ備蓄</p> <p><b>【更新時期】</b> 保存期間1.5年のため、保存期間前に更新（毎年更新） 粉ミルクは整備されていないため、2017年度より整備。</p>
品 目	アルファ米（白飯、赤飯、白がゆ、梅がゆ）《対象：1～2歳、70歳以上》 アレルギー対応
備蓄計画	<p><b>【備蓄基準】</b> 注水後の内容量は1食当たり100g程度（白がゆ、梅がゆ 42g）</p> <p><b>【目標数量】</b> 113人×9食=1,017食（2017.12現在 1,429食）</p> <p><b>【整備数量】</b> 1,000食（納入単位の目安：50食）</p> <p><b>【更新時期】</b> 保存期間5年（入れ替えの管理、大量廃棄を避けるため、4年サイクルで更新） 整備は、現在の残数を考慮して、2018年度より更新を行う。</p>
品 目	アルファ米（わかめご飯、田舎ごはん、山菜おこわ、ドライカレー等） 生命のパン（オレンジ、プチプェール、黒豆、ココア等） 《対象：3歳以上》
備蓄計画	<p><b>【備蓄基準】</b> 注水後の内容量は1食当たり100g程度（アルファ米） 内容量は1食当たり4号缶 100g（2個）</p> <p><b>【目標数量】</b> 424人×9食=3,816食 アルファ米 1,908食（2017.12現在 0食） 生命のパン 1,908食（2017.12現在 0食）</p> <p><b>【整備数量】</b> アルファ米 2,000食（納入単位の目安：50食） 生命のパン 1,920食（納入単位の目安：24缶）</p> <p><b>【更新時期】</b> 保存期間5年（入れ替えの管理、大量廃棄を避けるため、4年サイクルで更新） 整備は、現在の残数を考慮して、2018年度より更新を行う。</p>

品 目	乾燥スープ（即席卵スープ、オニオンスープ、即席みそ汁） 《対象：対象者全数》
備蓄計画	<p>【備蓄基準】 注水後の内容量は1食当たり100g程度</p> <p>【目標数量】 540人×9食=4,860食（2017.12現在 1,000食）</p> <p>【整備数量】 5,000食（納入単位の目安：200食）</p> <p>【更新時期】 保存期間5年（入れ替えの管理、大量廃棄を避けるため、4年サイクルで更新） 乾燥スープについては整備されていないため、2017年度より整備。</p>

品 目	飲料水 純水《対象：対象者全数》
備蓄計画	<p>【備蓄基準】 1人当たり1日3ℓ</p> <p>【目標数量】 540人×0.5ℓ×6本（3ℓ）×3日=4,860ℓ（2017.12現在 4,112.5ℓ）</p> <p>【整備数量】 4,860ℓ 9,720本（納入単位の目安：500ml×24本）</p> <p>【更新時期】 保存期間5年（入れ替えの管理、大量廃棄を避けるため、4年サイクルで更新） 整備は、現在の残数を考慮して、2018年度より更新を行う。</p>

## 2. 生活必需品

生活必需品の哺乳瓶、子ども用紙オムツ、介護用紙オムツ、生理用品については 3 日分を目標に、次のとおり備蓄します。

品 目	哺乳瓶（使い捨て）《対象：0 歳》
備蓄計画	<p>【備蓄基準】 1 人当たり 1 日 5 本</p> <p>【目標数量】 3 人×1 日 5 本×3 日分=45 本（2017.12 現在 70 本）</p> <p>【整備数量】 70 本 地域の各拠点に 10 本ずつ整備</p> <p>【更新時期】 保存期間 3 年（3 年で劣化するため、3 年置きに更新）※2020 年度更新 現在整備している哺乳瓶は保存期間を迎えるため、2017 年度に更新。</p>

品 目	子ども用紙オムツ（乳幼児用含む）《対象：0～2 歳》
備蓄計画	<p>【備蓄基準】 1 人 1 日当たり 8 枚を目安として約 3 日分を備蓄</p> <p>【目標数量】 3 人（0 歳）×8 枚×3 日分=72 枚 7 人（1 歳～2 歳）×8 枚×3 日分=168 枚 （2017.12 現在 各サイズ 7 パック）</p> <p>【整備数量】 各サイズ 7 パック 地域の各拠点に各サイズ 1 パックずつ整備</p> <p>【1 パックの目安：新生児用（テープ）60 枚、S サイズ（パンツ）62 枚、M サイズ（パンツ）58 枚、L サイズ（パンツ）44 枚、B i g サイズ（パンツ）38 枚】</p> <p>【更新時期】 保存期間 3 年（3 年で劣化するため、3 年置きに更新）※2020 年度更新 現在整備している紙おむつは保存期間を迎えるため、2017 年度に更新。</p>

品 目	介護用紙オムツ（高齢者用）《対象：要介護認定 3 以上》
備蓄計画	<p>【備蓄基準】 1 人 1 日当たり 6 枚を目安として約 3 日分を備蓄</p> <p>【目標数量】 9 人分×1 日 6 枚×3 日分=162 枚（2017.12 現在 各サイズ 7 パック）</p> <p>【整備数量】 7 パック【1 パックの目安：18 枚入（パンツ・M～L）】 7 パック【1 パックの目安：16 枚入（パンツ・L～LL）】 地域の各拠点に各サイズ 1 袋ずつ整備</p> <p>【更新時期】 保存期間 3 年（3 年で劣化するため、3 年置きに更新）※2020 年度更新 介護用紙オムツについては整備されていないため、2017 年度より整備。</p>

品 目	生理用品《対象：女性》
備蓄計画	<p><b>【備蓄基準】</b> 1人1日当たり8枚（昼用6枚＋夜用2枚）を目安として約3日分を備蓄。</p> <p><b>【目標数量】</b> 昼用 111人×6枚×3日分=1,998枚（2017.12現在 36袋 72パック） 夜用 111人×2枚×3日分=666枚（2017.12現在 31袋 62パック）</p> <p><b>【整備数量】</b> 36袋（72パック）（1袋の目安：昼用28枚×2パック入） 31袋（62パック）（1袋の目安：夜用11枚×2パック入）</p> <p><b>【更新時期】</b> 保存期間3年（3年で劣化するため、3年置きに更新）※2020年度更新 生理用品については整備されていないため、2017年度より整備。</p>

### 3. 避難収容施設資機材等

資機材等の備蓄については、次のとおり備蓄します。

防災資機材	仕様・規格等	目標数量
災害緊急時用段ボールベット	W1950×D870×H400 (mm)	75 セット
屋内型避難用テント	W205×D105×H155 (cm)	140 張
屋内型避難用テント目隠しシート	約W200×D200×H70 (cm)	140 枚
ブルーシート	3.6m×5.4m	11 枚
ブルーシート	5.4m×7.2m	21 枚
ブルーシート	7.2m×9.0m	17 枚
折りたたみ式レジャーマット	15mm (厚さ)	540 枚
非常用発電機	ガソリン式	10 台
発電機用純正エンジンオイル		20 本
炊き出しセット デリバリーステーション		3 台
電工ドラム	漏電・防滴対応 30m	14 個
LED投光器		21 台
カラフルコーン		70 個
コーンウエイト	3.0kg	70 個
コーンバー	2.0m	70 本
LED誘導棒		21 本
LED懐中電灯		50 個
乾電池	単二	700 本
乾電池	単三	700 本
衛星携帯電話	NTTドコモ ワイドスターII	1 台
マジック	マッキー 8色	7 セット
軍手	36 双組	14 パック
カッター		14 本
ハサミ		14 本
布テープ ※5 個パック入		7 パック
PPロープ		14 個
PPひも		14 個
取って付きポリ袋 (靴入れ袋)	30号 100 枚入	14 袋
収納ボックス	約 74L	14 箱

## IV. 備蓄計画

食糧及び生活必需品の備蓄は、2017年度から5年間で更新及び整備をしていきますが、食糧及び飲料水は2017年度から順次消費期限を迎えるため更新を行う必要があるが、消費期限を迎えない備蓄の残数により2017年度以降の目標人数分540人分を確保できることから、2017年度は更新は行わず、2018年度より行う。

基本的に更新は、各年度において保存期間を考慮しながら、年次的に備蓄を行っていくこととします。(例、保存期間が5年間の食糧(乾燥スープ)で5,000食を備蓄する場合は、毎年1,000食分ずつ備蓄を行います。ただし、粉ミルク等保存期間が1.5年間の食糧は毎年必要数量分を備蓄します。)

また、保存期間が1年を切った食糧については、地域での防災訓練や自主防災組織の研修等で配布し、地域での活用に資することによって防災意識の高揚を図ります。

## V. 各地区の備蓄拠点への分散備蓄

### 1. 備蓄拠点の機能・役割

過去の災害の経験や、町の道路事情及び地形を考慮し、地区ごとの避難施設等の備蓄拠点へ分散備蓄を行います。

※分散備蓄とは

災害時、備蓄物資の供給対象者に対し、速やかに必要な物資が適宜配分できるよう、災害時の指定避難収容施設を中心に分散して物資を配備する体制をいいます。

### 2. 備蓄拠点について

羅臼町の備蓄拠点は、次の施設とする。

- (1) 峯浜町コミュニティセンター  
対象地区：峯浜町、浜幌萌町
- (2) 農林漁業体験実習館  
対象地区：幌萌町、春日町、麻布町
- (3) 羅臼町立春松小学校  
対象地区：八木浜町、知昭町、松法町
- (4) 北海道立羅臼高等学校  
対象地区：礼文町南
- (5) 羅臼町立羅臼小学校  
対象地区：礼文町北、本町、緑町
- (6) 羅臼町立知床未来中学校(一部：羅臼町役場)  
対象地区：栄町、湯ノ沢町、栄町高台、富士見町、船見町、共栄町
- (7) 旧知円別小中学校  
対象地区：海岸町、岬町、北浜～相泊

## VI. 年次備蓄配備計画

区分	品目	2017	2018	2019	2020	2021
食糧等	粉ミルク (スティックタイプ) アレルギー対応 (14.50g/本 1箱6本入)	14箱	14箱	14箱	14箱	14箱
〃	アルファ米 アレルギー対応 (白飯、赤飯、白がゆ、梅がゆ)	0食	200食	200食	200食	200食
〃	アルファ米 (わかめご飯、田舎ごはん、山菜おこわ等)	0食	400食	400食	400食	400食
〃	生命のパン (オレンジ、プチヴェール、黒豆等)	0食	384食	384食	384食	384食
〃	乾燥スープ	1,000食	1,000食	1,000食	1,000食	1,000食
〃	飲料水 純水 (500ml 1ペットボトル)	0 <sup>ペット</sup> (0本)	972 <sup>ペット</sup> (1,944本)	972 <sup>ペット</sup> (1,944本)	972 <sup>ペット</sup> (1,944本)	972 <sup>ペット</sup> (1,944本)
生活用品	子ども用紙オムツ (テープ) 新生児用 60枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	子ども用紙オムツ (パンツ) Sサイズ 62枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	子ども用紙オムツ (パンツ) Mサイズ 58枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	子ども用紙オムツ (パンツ) Lサイズ 44枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	乳幼児用紙オムツ (パンツ) Bigサイズ 38枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	介護用紙パンツ (パンツ) M～L 18枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	介護用紙パンツ (パンツ) L～LL 16枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	生理用ナプキン (昼用) 1袋: 28枚入×2パック	36袋	0袋	0袋	36袋	0袋
〃	生理用ナプキン (夜用) 1袋: 11枚入×2パック	31袋	0袋	0袋	31袋	0袋
〃	おしりふき (幼児用) 1袋: 80枚入×6パック	7袋	0袋	0袋	7袋	0袋
〃	おしりふき (高齢者用) 72枚入	7パック	0パック	0パック	7パック	0パック
〃	使い捨て哺乳瓶 (チューボ)	70本	0本	0本	70本	0本
〃	タオル 10枚入	0パック	0パック	0パック	70パック	0パック
〃	マスク 65枚入	0箱	14箱	0箱	0箱	0箱
〃	からだぬれタオル 60枚入	0パック	14パック	0パック	0パック	14パック
〃	キッチンハイター 600ml	0本	14本	0本	0本	0本
〃	業務用袋 70L 10枚入	0袋	70袋	0袋	0袋	0袋
〃	サランラップ 50m	0本	14本	0本	0本	0本
〃	使い捨て手袋 Lサイズ 100枚入	0箱	14箱	0箱	0箱	0箱
〃	使い捨て食器皿 (食事用) 30枚入	0パック	70パック	0パック	0パック	0パック
〃	使い捨て食器皿 (汁用) 5枚入	0パック	140パック	0パック	0パック	0パック
〃	使い捨て割箸 100膳入	0パック	14パック	0パック	0パック	0パック
〃	使い捨てスプーン 100本入	0パック	14パック	0パック	0パック	0パック

区分	品目	2017	2018	2019	2020	2021
資機材等	災害緊急時用段ボールベット	35セット	40セット	0セット	0セット	0セット
〃	屋内型避難用テント	70張	70張	0張	0張	0張
〃	屋内型避難用テント目隠しシート	45枚	95枚	0枚	0枚	0枚
〃	ブルーシート 3.6m×5.4m	11枚	0枚	0枚	0枚	0枚
〃	ブルーシート 5.4m×7.2m	21枚	0枚	0枚	0枚	0枚
〃	ブルーシート 7.2m×9.0m	17枚	0枚	0枚	0枚	0枚
〃	折り畳み式レジャーマット 15mm(厚さ)	110枚	110枚	110枚	110枚	100枚
〃	非常用発電機(ガソリン式)	0台	1台	3台	3台	3台
〃	発電機用純正エンジンオイル	0本	2本	6本	6本	6本
〃	炊き出しセット デリバリーステーション	1台	0台	1台	1台	0台
〃	電工ドラム 漏電・防滴対応 30m	0個	0個	14個	0個	0個
〃	LED投光器	0台	0台	0台	7台	14台
〃	カラフルコーン	0本	0本	70本	0本	0本
〃	コーンウエイト 3.0kg	0個	0個	70個	0個	0個
〃	コーンバー 2.0m	0本	0本	70本	0本	0本
〃	誘導棒	0本	21本	0本	0本	0本
〃	LED懐中電灯	50個	0個	0個	0個	0個
〃	乾電池(単二)	0本	0本	0本	0本	700本
〃	乾電池(単三)	0本	0本	0本	0本	700本
〃	衛星携帯電話	1台	0台	0台	0台	0台
〃	マジック(マッキー)	0セット	7セット	0セット	0セット	0セット
〃	軍手(36双組)	0パック	14パック	0パック	0パック	0パック
〃	カッター	0本	14本	0本	0本	0本
〃	ハサミ	0本	14本	0本	0本	0本
〃	布テープ(5個パック入)	0パック	7パック	0パック	0パック	0パック
〃	PPロープ	0個	14個	0個	0個	0個
〃	PPひも	0個	14個	0個	0個	0個
〃	靴入れ袋 30号 100枚入	0パック	14パック	0パック	0パック	0パック
〃	収納ボックス 約74L	0個	14個	0個	0個	0個

## VII. 地区ごとの整備数量

※別冊資料編参照

## VIII. 現有防災備蓄品

※別冊資料編参照

## IX. 協定事業所一覧

分野別	締結年月日	協定名	締結先
医療	H8. 7. 16	災害時の医療救護活動に関する協定	一般社団法人根室市外三郡医師会
医療	H14. 3. 18	災害時の歯科医療救護活動に関する協定	一般社団法人釧路歯科医師会
相互支援・広域応援	H20. 6. 10	災害時等における北海道及び市町村相互の応援に関する協定	北海道/市長会/町村会
復興・支援	H21. 7. 31	日本水道協会北海道地方支部道東地区協議会災害時相互応援に関する協定	日本水道協会北海道地方支部道東地区協議会
復興・支援	H22. 5. 28	北海道地方における災害時の応援に関する申し合わせ	北海道開発局
物資	H22. 10. 13	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定	北海道コカ・コーラボトリング株式会社
復興・支援	H22. 11. 24	災害等の発生時における羅臼町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応援・復旧活動に関する協定	北海道エルピーガス災害対策協議会
復興・支援	H23. 4. 1	羅臼町公共・土木施設における災害時の協力体制に関する実施協定	羅臼町建設業協会
復興・支援	H25. 2. 18	災害時における石油類燃料の供給等に関する協定	釧路地方石油業協同組合
復興・支援	H25. 2. 18	災害時における石油類燃料の供給等に関する協定	北海道エネルギー株式会社根室販売支店羅臼SS
医療	H25. 2. 20	災害時の医療救護活動に関する協定	社会医療法人孝仁会
相互支援・広域応援	H25. 8. 23	根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町根室管内5市町防災基本協定	根室市/別海町/中標津町/標津町
通信	H26. 3. 31	災害発生時における羅臼町と羅臼町内郵便局の協力に関する協定	羅臼町内郵便局 (日本郵便株式会社)
輸送	H26. 11. 12	緊急時における輸送業務に関する協定	一般社団法人釧路地区トラック協会中標津支部
復興・支援	H26. 11. 27	災害時協力協定	一般財団法人北海道電気保安協会
物資	H28. 12. 8	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	DCMホームマック株式会社
物資	H28. 12. 8	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社ホームマックニコット
物資	H28. 12. 28	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	生活協同組合コープさっぽろ
物資	H29. 1. 31	災害時における無償提供に関する協定	大塚製薬株式会社
物資	H29. 2. 9	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社セコマ
輸送	H29. 3. 1	災害時における海上輸送体制の確保に関する協定	知床羅臼遊漁釣り部会
輸送	H29. 3. 1	災害時における海上輸送体制の確保に関する協定	羅臼漁業協同組合
輸送	H29. 3. 1	災害時等における緊急・救援輸送等に関する協定	知床羅臼観光船協議会
物資	H29. 3. 1	災害時における生活物資の調達等に関する協定	羅臼町商工会
物資	H29. 3. 17	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	株式会社ツルハ

分野別	締結年月日	協定名	締結先
物資	H29. 3. 17	災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	ヤマモトファーマシー (ツルハ羅臼店)
資機材	H29. 4. 17	災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定	日立建機日本株式会社
資機材	H29. 4. 17	災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定	株式会社共成レンテム
輸送	H29. 4. 27	災害時における海上輸送体制の確保に関する協定	小針土建株式会社
資機材	H29. 5. 12	災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定	株式会社カナモト 中標津営業所
資機材	H29. 5. 25	災害時における物資供給等防災に関する協力協定	王子コンテナ株式会社 釧路工場
物資	H29. 6. 30	災害時における飲料・食糧の調達に関する協定	大塚製薬株式会社
輸送	H29. 7. 20	災害時における物資輸送等に関する協定	ヤマト運輸株式会社 道東主管支店
物資	H29. 9. 27	災害時における地図製品等の供給等に関する協定書	株式会社ゼンリン

# 羅臼町災害時備蓄計画

平成29年1月23日作成

平成29年12月4日改訂

令和2年2月6日改訂

作成者 羅臼町総務課